

全日赤



給食問題対策委員会ニュース

No2008-05

2009.05.15

このニュースは全日赤のホームページでも見られます <http://www.zennisseki.or.jp/>

給食部門委託（下請け）は断固反対!!

利益第一の給食ビジネスから患者さんの為の安全・安心の給食サービスへ

『日清医療』が所得隠し

10億円 営業権購入は利益供与(2009/4/2 朝日) 一部省略

病院や福祉施設向けの給食サービス最大手「日清医療食品」(東京)が東京国税局の税務調査を受け、08年3月期までの7年間で約10億円の所得隠しを指摘されたことが分かった。大阪の医療法人のグループ会社に「給食営業権」購入名目で代金を支払っていたが、国税局は営業権に実体はなく、課税対象の「寄付金」と判断したとみられる。実質的にはリベートに当たるとされた。

関係者によると、同社は02年12月、大阪府茨木市の医療法人「恒昭会」のグループ会社で、グループ内で給食事業を請け負っていた「サンハズ」(同市、解散)から、「給食事業の営業権」を約11億円で購入し、新たに給食の提供を始めたという。

日清医療食品は72年創業。医療、福祉系の給食ビジネスでは老舗(しにせ)として知られ、01年にジャスダックに上場している。08年3月期の売上高は1624億円。即席めんで有名な「日清食品」(東京)とは無関係。昨年9月には仕入れた食材の中に米販売会社「三笠フーズ」(大阪市)の汚染米が混入していたことが分かり、対応に追われた。

全国の日赤施設の給食部門でも委託(下請け)会社として有名な企業が、所得隠しを指摘されていました。

この日清医療食品は1986年3月厚労相『病院における給食業務一部委託について』との通達にて給食委託業務を開始し、96年4月には、「日本医療食協会」と共謀し、法外な利益を上げたとして、公正取引委員会から排除勧告を受けています。

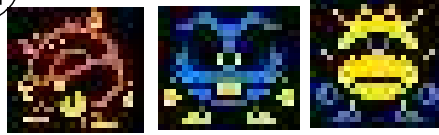
給食サービス最大手企業の企業倫理の低さと、法を無視する利益第一主義の一端は少なからずその中で働く職員の労務管理、提供される給食の安全性に影響を及ぼすものと思います。

直接指揮命令出来ない請負(委託)は毎日患者さんの口に直接入る食事を提供するにも関わらず施設側が業務管理をまったく出来ないという安全性、遵法性を明確に守れない問題を孕んでいます。

このような企業とは契約をやめ、患者さんの健康、給食部門で働く労働者、公的医療機関としての企業倫理を守り安心しておいしく食べられる病院給食サービスへもう一度直営での運営を検討するよう強く施設側へ訴えていきましょう!

おばんざい

新年度は辛年度？



文：調理師 モモちゃん

また、新年度が始まりましたが、私の職場にとっては去年に引き続き辛い年度、辛年度の始まりとなってしまいました。

昨年は、それまでの委託業者の撤退により、新しい業者が変わり、またイチからのスタートとなり大騒動でした。

それでも何とか1年が過ぎ、まあまあかたちになってきて、とりあえずは一安心？って感じだったんですが・・・。

今年に入ってまた新たな展開が・・・。

ある日突然上司に集められ一言「4月から全面委託になります、でもあなた方はそのまま働けます」・・・と、一同????状態です。

で、その後改めて上司から「全面委託というのは言い方が悪かったから」と再度説明があり、今まで職員が行っていた献立作成・食材の仕入れ・管理一切を業者に委託して職員の栄養士は栄養指導などを専属に行っていく。(それって全面委託って言うんじゃない?)。現場の調理師は、身分は病院職員のままで委託業者と混在で働くという形です。

病院側は、適材適所で職員にとっても損はないし、業者側にとってもベテランを無料で使えるというメリットがあるといっていますが、要するに便利屋?

現在4月に入ってほとんど1年生状態のスタートが再度始まり、毎日混乱の日々です。

それに輪をかけて混乱を招いているのが4月から導入された、勤務時間の短縮。

時間は短くなっても仕事量は増えるかと言っても減らすことができない、でもスタッフは増えない現状とかみ合わず、10分短縮したため毎日のように誰かが残業で補わなくてはやっていけないという逆転現象が生じています。

そんなこんなで、今精神的にも肉体的にもぼろぼろななっていて、人間関係も・・・。

どこの栄養課でも人間関係に悩んでいるようですが、先日も全日赤の仲間の一人が退職に追い込まれました。

その当事者たちは自らの首を絞めているというのがわからないのでしょうか?

「そんなことやってる場合じゃないだろ」と声を大にして言いたいです。

このような現状は、私の職場だけの問題ではなく、どこの職場でも起こりえる、ましてや起こっている問題です。

これからまだまだ、委託・合理化は強化・推し進められてゆく中で、私たちはスタッフ間のつながりを強め、みんなで栄養課という存在を守っていくべきだと思います。

おまけ：「ももちゃんのプチdiet日記」不定期ながら更新続けてます。

「ももちゃんのプチdiet日記」で検索してね。

